

科目名

近代建築史 History of Modern Architecture

2年 後期 2単位 選択

内丸 恵一

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 1-(2), 2-(4), 3-(5)
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
C	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	C 1	建築計画コース	必修	
	—	建築構造コース	選択	

【概要】

現代建築は、主に西ヨーロッパで起こったモダニズムの建築を基礎としながら、その模倣と変容、およびそれを乗り越えようとする試みの歴史であると言える。多様な建築の形態と思想が氾濫する現在、近代建築の歴史の変遷を理解することは、建築の設計を指向する学生にとっては、みずからの建築を考えるための必須の基礎となる。本講義は、19世紀中頃以降の近代建築の胎動期、およびその成立から世界各地への拡がり、さらに成熟・変容に至る歴史の変遷を、ヨーロッパとアメリカ・日本を中心に構ずる。

【到達度目標】

- (1) 19世紀から現代にいたる近代建築の成立と変容の歴史的過程を理解する。
- (2) 基本的知っておかなければならない建築物について理解する。
- (3) 主要な建築運動の歴史的・社会的・地域的背景、および時間や地域の異なる建築運動の、相互の関連性を理解する。
- (4) 代表的建築の空間構成や意味を読み取る見方を学び、大学での設計課題への参考としてだけでなく、将来的な建築設計のためのバックボーンとして理解する。

【授業計画】

テーマ	内 容
① 全体の概要	近代建築史の全体的な流れ
② 産業革命と建築	産業革命を背景とした社会変化と新しい建築の要請
③ 19世紀末の新しい造形運動	アーツ・アンド・クラフツ運動、グラスゴー派、アール・ヌーボー、モデルニスモ、ウィーン分離派
④ モダニズム建築への胎動	ドイツ工作連盟、フランスの初期近代建築（ペレとガルニエ）、シカゴ派とフランク・ロイド・ライト
⑤ 前衛的建築運動	キュビズムと建築、未来派、ロシア構成主義、デ・ステイル
⑥ 表現主義	ドイツ表現主義、アムステルダム派、日本の表現主義
⑦ モダニズム建築の成立・1	モダニズム建築形成期の動き、バウハウス
⑧ モダニズム建築の成立・2	ミース・ファン・デル・ローエ、ル・コルビュジェ
⑨ 近代建築運動の拡がり・1	CIAMの結成と活動、インターナショナル・スタイル、北欧の近代建築運動（ナショナル・ロマンティシズムとアールト）
⑩ 近代建築運動の拡がり・2	イタリア合理主義、オランダ新即物主義、ドイツ・フランス・スイス・イギリスの動向、カリフォルニア・モダニズム、日本
⑪ モダニズム建築の成熟	後期のフランク・ロイド・ライト、戦後のミースとコルビュジェ
⑫ モダニズム建築の展開・1	アメリカと日本の戦後モダニズム
⑬ モダニズム建築の展開・2	構造表現主義、地域主義建築の系譜
⑭ モダニズム建築の深化と変容	ルイス・カーン、ジェイムス・スターリング
⑮ モダニズムへの懐疑と継承	ポスト・モダニズム、ヴァンキュラー建築、現代の動向
⑯ 定期試験	学生自身による自己評価

【授業方法】

配布プリントに沿って、適宜スライドやビデオを使いながら授業を行う。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中に学生から質問を受け、必要場合は講義内容に関する補足説明を行う。
- 2) 受講生全員に配布プリントを筆写させ、適宜チェックして、遅れている学生には指導する。
- 3) 試験終了後に時間を設けて、試験の講評を行う。

【評価方法】

- 1) 定期試験に加え、適宜ノート提出させ各自の学習内容を判定し、評価の参考とする。
- 2) 全授業終了後に、学生自身による自己評価を行う。

【関連科目】

2年：西洋建築史、建築設計Ⅰ

【教科書・教材】

教 材：配布プリント
教科書：日本建築学会 編 近代建築史図集（彰国社）

【参考書】

近代建築史（石田潤一郎、中川 理、昭和堂）
西洋建築史入門（森田慶一、東海大学出版会）
建築20世紀 PART 1、PART 2（新建築社）

【履修上の注意】

- 1) ただ講義で教えられたことを理解するだけでなく、近代の建築や美術、芸術や歴史に興味をもってほしい。そうすれば、日常生活からも学ぶ機会が増えるはずである。
- 2) 目先のことだけでなく、将来自分の建築を創っていくための基盤を学ぶつもりで取り組んでほしい。

【オフィスアワー】

講義終了後1時間、研究室にて講義内容に関する質問を受け付ける。